

# 市議会だより No.39

平成27年11月15日



防府天満宮「花神子社参式」 | 道の駅「潮彩市場防府」開駅式  
防府天満宮「天神人形」花鉢 | ルルサス防府感謝祭

## 9月定例議会

議案の概要	.....	P2 ~ P3
一般質問	.....	P4 ~ P8
一般・特別会計決算特別委員会の報告	.....	P9
上下水道事業決算特別委員会の報告	.....	P9

特別委員会の報告	.....	P10
議会モニターからの意見	.....	P10
視察報告	.....	P11
議会日誌	.....	P12
12月定例議会の予定	.....	P12

議会中継（ライブ・録画）がホームページで見られます!! [防府市議会](#) で検索

# 平成27年 9月 定例議会

9月定例議会は、9月3日から10月6日までの会期34日間の日程で行われました。

平成26年度一般会計・特別会計及び上下水道事業会計決算の認定、平成27年度一般・特別会計補正予算をはじめ、市職員の再任用に関する条例及び市職員退職手当支給条例中改正、手数料条例中改正など議案17件、報告4件、推薦1件、選任1件、承認1件、認定2件を審議しました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」は、P3をご覧ください。

## 人事

■人権擁護委員候補者の推薦

再任 内藤和行さん(大字(台道))

■固定資産評価審査委員会委員の選任

再任 橋本勇さん(栄町)

## 条例

■市職員の再任用に関する条例及び市職員退職手当支給条例を改正

平成27年10月から共済年金が厚生年金に統一されることに伴い、改正を行いました。

■手数料条例を改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)の公布に伴い、マイナンバーの通知カード等の再交付に係る手数料を新設するとともに、住民基本台帳カード交付手数料を廃止する条例案が提出され、賛成多数で可決されました。(賛否No.2)

## 予算

■平成27年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額をそれぞれ9、13万7千円減額し、補正後の予算総額を422億8、477万2千円としました。

主なものは、年割額変更に伴う桑山中学校改築事業費2億6、457万円の減額、山頭火ふるさと館整備事業の平成27年度分施設整備工事費等1、756万円、若者の就業機会拡大のための雇用安定事業費600万円、豊かな森林づくり推進事業費508万5千円、外国人旅行者の増大のための観光協会助成事業費800万円、観光スポットに看板を設置する費用700万円、海洋民俗資料収蔵庫整備のための実施設計費用408万6千円の増額などです。

山頭火ふるさと館整備事業については、総額5億4、440万4千円の建設にかかる継続費が計上されましたが、議員から総額4億9千万円とする修正案が提出され、賛成多数で可決されました。

主な発言内容については、P3「焦点」をご覧ください。(賛否No.3・4)

■平成27年度特別会計補正予算

競輪事業外5つの特別会計補正予算を原案のとおり可決しました。

## 一般議案

■西浦小学校校舎改築(建築主体)工事請負契約

契約相手 藤本工業(株)・長沼建設(株)共同  
企業体  
契約金額 3億6、964万800円

## 決算

■平成26年度一般・特別会計決算

一般会計においては、行政改革による職員数の削減や、民間委託の結果、市民サービスが低下、実質収支は赤字だが、市民のための施策が不十分、国民健康保険事業特別会計では、保険料引き下げの努力がされていないとの反対意見がありました。賛成多数により認定されました。(賛否No.5)

決算特別委員会の報告については、P9をご覧ください。

## 報告

■平成27年度地籍調査事業測量業務等委託契約を一部変更

大字久兼地区の地籍調査について、事業面積を拡大し、平成27年度中に完了させるため、契約金額を変更しました。  
契約相手 大正測量(株)山口支店  
契約金額 5,018万7,600円  
(変更前4,212万円)



# 焦点 山頭火ふるさと館整備の減額案が可決

9月議会では、整備予定地に建設する「山頭火ふるさと館」建築費について活発な議論がされ、当初提案のあった補正予算案の継続費について、総額5億4,440万4千円を、議員提案により4億9千万円に減額する修正案が賛成多数で可決されました。

本会議最終日には、この修正案以外に建築等に係る補正予算案を削減し、再提出すべきとの修正案も出されました。ここでは、最終本会議における修正案に対する議員の主な発言を紹介いたします。



山頭火ふるさと館（イメージ）

## ■建築費等削減修正案(賛否No.3)に賛成 河杉憲二(絆)

山頭火ふるさと館の建築について、建築費が安くなる工法の検討余地がまだあり、駐車場の問題、さらに運営リスク等も十分精査した上で、改めて予算として上程すべき。

## 山本久江(日本共産党)

5億4,440万4千円については、市民からも高すぎるのではないかと意見が相当寄せられており、全体として改めてその見直しを行うべきで、予算を出し直すのが筋である。

## 山田耕治(絆)

まだコスト削減について十分検討考慮すべきで、建築費については約1億円の削減が見込める。

短期間で削減案が出されることは、予算提案をされた根拠も裏付けも否定するもので、再度提出して審議すればよい。

## ■建築費減額修正案(賛否No.4)に賛成 吉村弘之(自由民主党 一心会)

本市の一般会計約4百億円という財政規模に合った建築費に抑えるべきで、当初計画から変更のあった、面積・2年分の物価上昇・消費税の増を勘案し計算した金額4億9千万円以内で行うべき。

## 山下和明(公明党)

博物館級のもの建設ということとで建築費が高騰している。執行部側も検討して、総額5,400万円の減額ができるということ、建築費は4億9千万円を上回らないということに賛成をする。

## 田中健次(市民クラブ)

山頭火は自由律の俳人として全国的に発信すべき人である。展示の経費は削減されるものの、基本的なものは確保されている。懸案だった駐車場も11月には案を示すとのことと評価する。

## — 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否No	平成27年9月定例会	会派・議員名（※議長は除く）																	賛否の合計		議決結果								
		自由民主党 一心会					和の会					絆			公明党				日本共産党	改革の会		市民クラブ	無所属の会	賛成	反対				
		上田	橋本	松村	安村	行重	吉村	今津	清水	田中敏	小林	平田	藤村	安藤	河杉	重川	三原	山田	高砂	山下		山根	木村			山本	和田	田中健	久保
1	指定管理者の指定（防府図書館）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	2	原案可決
2	手数料条例中改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	3	原案可決
3	平成27年度一般会計補正予算(第6号) (山頭火ふるさと館整備事業経費を削減する修正及び継続費削減案)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	18	否決
4	平成27年度一般会計補正予算(第6号) (山頭火ふるさと館整備事業継続費を減額する修正案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	5	可決
5	平成26年度一般・特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	3	認定
6	平成26年度上下水道事業決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	1	認定

※賛否の態度が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない20議案等は、全会一致で可決しました。

※安藤議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

# Q&A

## 一般質問



9月定例議会では、14名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を12月上旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

### 幼児の遊び場も考慮したキッズパーク構想を！

山田 耕治(絆)

**問** 魅力ある子育てゾーンの核として、年齢別で楽しめるキッズパークの整備計画は？

**健康福祉部長** 今後、先進都市の事例を研究し、課題としたい。

**問** 幼児も含めた子育て環境の充実・強化は？

**健康福祉部長** 市内7カ所の子育て支援センターの充実と、児童遊園や都市公園の遊具の整備・更新を順次行っていく。

**問** 猛暑も考慮した場合、室内向けのキッズパークや屋外での日陰対策は？

**健康福祉部長** ルルサス防府に親子で遊べる広場を設置。日陰対策は、東屋や藤棚が設置されていない施設では、植栽樹木による木陰を利用していただければと考えている。

**問** 大平山公園は、行くまでの山道が狭く、車の離合等、危険に感じるが、今後の整備計画は？

**産業振興部長** 注意の立て看板や区画線の整備を行っている。

**問** 市民プールの幼児用は水深50cm。幼児が座って遊べる10cm程度のじゃぶじゃぶスペースを設けては？

**総合政策部長** 平成28年は、設置に向けて考える。

**提案** ソーラー施設の機能や目的を維持しながら、年齢別で楽しめるスペースづくりを提案する。

**市長** ソーラーの利用や他施設についても研究し、設置に向けて考えたい。



東屋からミストが出て、水遊びもできる山口市の児童公園

**◆その他の質問項目**  
小型無人機(ドローン)について

### 新型交付金と日本版CCRCについて

吉村 弘之(自由民主党一心会)

**問** 平成28年度に国が創設する新型交付金について、市の取組は。

**市長** 市では、人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略を平成27年10月末に策定し、同時に新型交付金活用を含む予算編成作業に着手する。

**問** 大平園、愛光園、なかよし園の建築年数、耐震性と建替え予定は。

**健康福祉部長** 大平園が築36年、愛光園が築37年、なかよし園が築20年。平成17年度の耐震診断の結果は、大平園となかよし園は耐震性確保。愛光園は第一作業棟が耐震性に問題がある。施設がある所は土砂災害警戒区域に指定されており、建替えの際は移転も視野に入れて検討したい。

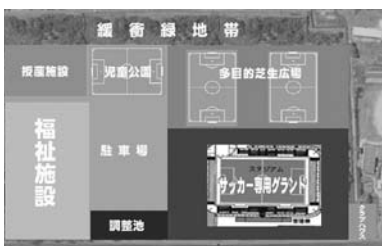
**問** 高齢者が健康な段階から入居して地域活動に参加し、介護が必要になれば医療を受けながら暮らし続ける日本版CCRC

C(移住支援・高齢者の社会参加・コミュニティづくり)の推進は。

**市長** 市の目指すべき方向性と同じなので、国などの動向を注視したい。

**問** 高齢者や障害者のための複合施設をサッカーグラウンドと一体化して整備するべきでは。

**市長** 今後立地の話があれば積極的に対応したい。サッカーグラウンドは関係団体から早期の整備要望があることから、複合施設の併設は難しい。



日本版 CCRC

## 向島排水対策事業について

山下 和明（公明党）

**問** 向島地区の排水対策について、漁業集落排水施設整備事業で対応すべきではないかと、過去何度も議会質問で取り上げてきた。

平成18年3月議会、平成21年6月議会の質問では、市長から「根本的には排水機能の施設や水路改修について検討する必要がある、基本的には漁業集落排水施設整備による雨水排水対策の検討に入り、急ぎ方針を示したい。」と答弁があった。

るもので、総事業費は3億1千万円、平成26年度は本村地区に1億3千万円の事業費が組まれていたが、ポンプ場整備は流れている。当初の計画と異なっているがどうか。

「市長 平成26年2月に、向島地区で全体事業の説明を行い、また着手する前には改めて説明会を開催することをお知らせしている。本村辰潮地区の排水ポンプ場を建設する予算措置をしていたが、現地調査の結果、より高い排水能力が必要であると判断し、設計業務を平成27年度3月まで伸ばした。本村辰潮ポンプ場建設の遅れは、郷ヶ崎西部地区、郷ヶ崎東地区での建設に影響があるので、早急に同事業の実施計画を見直し、関係自治会の皆様方にお知らせすることとする。」

## 地方創生への取組

今津 誠一（和の会）

**問** 国の要請に基づいて、我が市の総合戦略と具体策の策定がなされている。その進捗状況についてお尋ねしたい。

**市長** 現在、「素案」を作り、5つの基本目標として、「結婚・出産・子育て環境の創造」「地域教育力の再生」「産業振興による新たな雇用の創出」「人材の定着・還流・移住の推進」「コンパクトシティの形成を掲げ、84の取組をまとめた。平成27年10月末までに、総合戦略をまとめた。

**問** 推進のための組織体制は。  
**市長** 市長を本部長とする「防府市まち・ひと・しごと創生本部」、有識者等で構成する「防府市まち・ひと・しごと専門会議」、総合政策課内の「地域創生総合戦略室」が中心となる。一層の推進体制の充実に努めたい。

**問** 地域創生総合戦略室



で検討中の具体策は。  
**市長** 産業振興による新たな雇用の創出策を中心とし、「防府テクノタワー」への企業誘致や、まちなかにおけるサテライトオフィス等の誘致に取り組みたい。今後5年間で600人の新規雇用を創出したい。

**提案** ①地方創生推進の組織体制強化のため、外部人材を活用した「産業戦略アドバイザー制度」と「ふるさと納智制度」を。  
②出生率の向上を切り口に地方創生の具体策策定を、防府市の出生率1.76は、全国平均1.42を大きく上回り、刮目すべきこと。出生率を向上させるには、移住政策、雇用政策、子育て政策、教育政策等、全ての重点政策の推進が不可欠となる。

## 子育て世代の定住促進

### 2020オリンピック・パラリンピック合宿誘致

藤村 こずえ（和の会）

**問** わが国では急速な少子高齢化の進展に対応し、特に地方の人口減少に歯止めをかけることも、将来にわたって活力ある社会を維持していくことが喫緊の課題である。そこで子育て世代の定住を促進することは、本市の人口減少に歯止めをかける大きな要因になると考える。本市の子育て世代の現状について伺う。

**問** 本市の暮らしやすさ、充実した子育て支援など分りやすく市民にPRしてはいかがか。

**市長** 現在、「防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」の中で「若い世代の希望をかなえる結婚・出産・子育て環境の創造」「未来を拓く地域教育力の再生」を柱に、子育て世代にとって魅力あるまちづくりを進めている。本市の「合計特殊出生率」は近年上昇傾向にあり、平成25年には全国の出産率が1.43であったが、本市は1.76の高い水準であった。

**健康福祉部長** 子育て支援サービスの情報を一元化し、市民の皆様に分りやすく発信する。また子育て家庭に対するきめ細かな支援を行う。



**問** 2020東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致の本市の進捗状況はいかがか。

**総合政策部長** 現在、ソルトアリーナ防府の「東京2020事前キャンプ候補地ガイド」掲載に向けて準備している。車椅子バスケットボールの合宿誘致の実績がある自治体や、各選手団と直接交渉を行うなど関係機関とも協力し、積極的に取り組んでまいります。

「総合政策課」が中心となる。一層の推進体制の充実に努めたい。

### JR防府駅でんじんぐち、改正水防法について

山根 祐二(公明党)

**問** 「まちの顔」となるべきJR防府駅でんじんぐちは、非常に暗いが、明るくできないか。

**土木都市建設部長** てんじんぐち広場は、歴史をイメージした広場で、落ち着いた空間にしている。光度を抑えたナトリウム灯やオレンジ色の電灯でやわらかい光を採用している。フットランプやスポットランプは、安全に配慮しているが、今後機器の点検を行い、通路の照度の改善を図っていく。照明機器の更新時には、LED照明への切替えも検討したい。

**問** 改正水防法による地域指定は、洪水については想定し得る最大規模の降雨を前提とするが、防府市の想定は。

**市長** 国が最大規模の降雨量の見直しを行っており、現段階では公表されていない。

**問** 浸水被害は「洪水」



JR防府駅でんじんぐち

と、市街地で雨水があふれる「内水氾濫」がある。改正水防法では、市町村が区域指定と避難ルートを盛り込んだハザードマップをつくとあるが、その取組は。

**市長** 本市の内水浸水想定区域の設定は、国管理の1級河川 佐波川と県管理の2級河川 柳川及び馬刀川の洪水浸水想定区域が指定された後に、実施する予定である。ハザードマップの作成については、洪水と内水の浸水想定区域を重ねて印刷し、配布したい。

### 武道授業・マナー教育・三世代同居に補助金を

清水 浩司(和の会)

**問** 武道授業の効果は出ているのか。

**教育長** 武道授業は我が国固有の伝統と文化に親しみ、相手への思いやりの習得の機会としている。武道授業で学んだ礼儀が家庭や地域で定着するように指導したい。

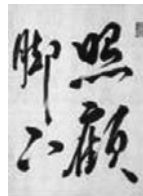
**問** 武道授業で事故は起きていないか。

**教育長** 柔軟体操やストレッチ、個人差に応じた練習を取り入れ、安全を優先しているため、事故は起きていない。今後も礼法を身に付け、自己形成を重視するという武道の伝統的な考え方に基づいた授業ができるように支援してまいりたい。

**問** マナー教育を学校現場に取り入れてはどうか。

**教育長** 既に履物を揃えることや言葉の使い方などの指導がなされている。いくつかの学校では畳の歩き方等も教えている。市の教育振興基本計画に

「心の教育の充実」を掲げ、社会生活のルールやモラルを育成することとしている。この取組には家庭・地域との連携が大切と考えており、学校運営協議会の協力を仰ぎたい。



**問** 定住化加速促進策のため、中山間地の子どもの確保の方策は。

**市長** 地域から小・中学校がなくなることはあってはならない。小野地域では「夢プラン」で若い世代の定着に取り組み、心強く感じている。地域の状況や特色に応じて支援したい。

**問** 三世代同居に補助金を出してはどうか。

**市長** 補助金導入は、有効な手立てと思う。三世代同居を希望される方に対し、積極的に支援を行いたい。

### 道路の維持管理・防犯灯について

和田 敏明(改革の会)

**問** 車道外側線について、復元する気がないように思われる。いつになれば安全に通行できる道路となるのか？

**土木都市建設部長** 順次復元に努めてまいりたい。放題となり、通行範囲が狭められるなど、各地域で問題となっている。多くの善意により車列りをしていたらいた部分についても、高齢化が進み、今後不安の声があがっている。除草等についてどのようにお考えか？

**土木都市建設部長** 地元自治会等に協力をお願いしている。状況が分かり次第、直営作業班が速やかに対応していく。

**問** 前述のような状態は、道路パトロールのあり方に問題があるのであれば？

**土木都市建設部長** 平成27年度から、それまで月

2回のパトロールを、月8回実施して強化を図っている。

**意見** 経験豊富な退職者をアドバイザーや指導者として活用するなど、民間企業等の良いところを取り入れることが問題解決に繋がると考える。

**問** 防犯灯設置基準について、以前の質問では見直し等を図っている。「市が設置する必要がある所については検討する。」課題が多く更なる研究が必要。」との答弁だったが、どのように検討、研究されたのか？

**市長** 他市の公設防犯灯設置基準や自治会に対する補助基準を調査した。

**問** 民家までの距離がある場所については、早急な対応が必要では？

**市長** 特定の場所について、設置経費の負担を軽減するなど、補助制度の見直しを検討してまいりたい。

### 小中一貫教育、「6・3」制 変更可能に!! 地域と共に育てる「コミュニティ・スクール」

河杉 憲一(絆)

**問** 小中一貫教育について基本的な考え方は。

**教育長** 小・中学校の教員が9年間の系統的、継続的な学習指導を行うことで、児童・生徒の精神的な安定や学びの連続性が生まれると考える。

**問** 富海小・中学校の一貫教育が4月からスタートしたが、入学者が7人と少なかった。保護者の負担軽減を考慮し、スクー

**教育部長** 児童・生徒の居住地が市内全域に広がっているので、現時点では運行は難しい。

**問** 学校教育法の改正により、平成28年4月から新たに義務教育学校の創設が可能となった。義務教育の9年間を従来の「6・3」制に限ることなく、自由に学年の編成をすることができ、弾力的なカリキュラムを組むことが可能となるが、今後の方針は。

**教育長** 国や県の動向を注視しながら、より良い方向性を検討して行く。

**問** コミュニティ・スクールを設置して4年目になるが、現状は。

**教育長** 各地域の特色を活かした取組が各学校で実施されている。また、全国学力・学習状況調査によると、子どもたちの自己肯定感や規範意識が高まってきている。

**問** 新たなモデルケースの取組は。

**教育長** 国府、牟礼、佐波中学校を中心とする3地域をモデル指定した。小・中学校と公民館を核とした地域連携の仕組みづくりが目的であり、学校と地域の連携のためのコーディネーター役が必要である

ため公民館の社会教育指導員が担っている。



### 公民館・老人憩の家の更新問題は 受動喫煙防止、市役所休日窓口

高砂 朋子(公明党)

**問** 老人憩の家は、老朽化、バリアフリー化の検討とともに、他の公共施設との複合化や連携による効率的な運営が求められているのでは。今後の更新問題についてご所見を伺う。

**市長** ども建物や設備の老朽化が進んでいる状況。今後、高齢者の課題解決のための地域ケア会議や住民主体の介護予防事業の場としての活用も検討したい。統廃合や公民館との複合化も検討が必要と考える。

**問** 平成26年3月議会で、公民館の在り方に焦点を当て、地域づくりの拠点に要望。今後の人口減少、少子高齢社会を見据え、人が生き、地域が活きる多角的で複合的な拠点の整備は重要課題ではないか。

**市長** 今後、公民館を多機能化・複合化することによって、地域の活動拠点施設とすることが可能ではないかと考える。

**問** 妊娠中の喫煙・受動喫煙防止について、子ども達が関与する施設での受動喫煙防止について、また学校教育の場におけるたばこに関する健康教育の実施について伺う。

**健康福祉部長** 母子健康手帳交付の際、喫煙者には、低体重児出生や先天奇形、流産・早産発生、乳幼児突然死症候群など、胎児や乳幼児に悪影響があることをお話し、副流煙にも気をつけるよう指導。子ども達が関与する施設等は全て敷地内禁煙とする等、教育委員会と連携し、防煙教育や講演会等を拡充する。



**市長** 早急に検討する。

### 情報公開を進め市政の透明化を 給食費への補助・食物アレルギー

田中 健次(市民クラブ)

**問** 情報公開法に準じて、市情報公開条例の非公開条項を見直し、市政の透明性を高めるべきだ。

**市長** 安易に非公開とすることはなく、現状で問題ないと考えている。

**問** 独立行政法人等情報公開法が施行されたが、独立行政法人等の役職員の職名・氏名等は、公務員と同様に公開すべきだ。

**総務部長** この点は検討の余地があると考えている。  
**意見** 情報公開法施行後は、国等協力関係情報、意思形成過程情報、合議制機関情報という旧来の非公開条項を他の事務事業と同様に扱ったことからの見直しが必要だ。

**問** 人口増・少子化対策として、学校給食費の無償化、あるいは補助を考

体があることは承知しているが、無償化、補助は考えていない。

**問** 文科省は、平成27年3月に「食物アレルギー対応指針」を発表、教育委員会の対応方針の策定を求めている。学校で、食物アレルギーのある児童・生徒への対応の現状はどうなっているか。

**教育長** 平成25年度から、①食物アレルギーの対応についての講演と工ピペン使用法の実習、②アレルギー対応申請時の診断書様式の統一と提出の義務付け、③事故時の連絡・緊急搬送体制の整備、④エビペン所持の児童・生徒の消火器への情報提供などを行っている。



### 国民健康保険料の引き下げを 老朽化した保育所の整備を

山本 久江(日本共産党)

**問** 国民健康保険料の負担が重く、保険料引き下げを求める声が多い。国の「被保険者一人当たり約5千円の財政改善効果

が体现できる」という財政支援の拡充策を活用して、保険料が引き下げられないか。平成26年度の国保の決算は、10億を超える赤字であり、ぜひ引き下げを。

**市長** 平成27年度当初調定では、県内13市中最低位で、低所得者に対する保険料負担軽減の拡大や保健事業の充実を図っており、現状での保険料引き下げは難しい。

**問** 保険料の均等割は、収入のない子どもが増えれば増えるほど、保険料が上がる仕組みとなっている。子育て支援に対する逆行であり、軽減措置が導入できないか。

**市長** 他市を参考に調査研究したい。  
**問** 市保育所である富海

保育所は、建築後38年、江泊保育所も36年経過し、老朽化が著しい。改築も含めた整備計画をどのように考えるか。

**健康福祉部長** 保育所等の充実を求める声が多くあることを踏まえ、公立保育所の存在意義及び財政面を含めた将来像を見据えて整備について検討したい。

**問** 保育所の遊戯室にエアコンがないことや手洗い場の未設置等、早急に改善してほしいがどうか。

**市長** 早急に対応したい。  
**問** 保育所同時入所の場合、第2子以降保育料を無料にできないか。  
**健康福祉部長** 多子世帯の保育料軽減事業について、所得制限の見直しを検討したい。  
**その他の質問項目**  
◆ 地域医療の取組について



### 自治会館バリアフリー化の新補助制度を 緊急通報装置設置事業を民間システムに

三原 昭治(絆)

**提案** 地域コミュニティづくりの拠点である自治会館の新設などに対する補助制度について、時代のニーズに合った拡充を。

**市長** 予算編成の中で補助限度額の上限の引上げを検討したい。  
**問** 防犯灯のLED化補助事業によって普及率90%に達し、自治会への電気料の助成額が約130万円減額となった。これを原資としてバリアフリー化に特化した新しい補助制度を設けては。

**市長** 全体のバランスを考えながら対応したい。  
**問** 自治会によっては、近隣の老人憩の家や公民館などを利用しているが状況は。

**総合政策部長** 老人憩の家7カ所、15自治会、公民館10カ所、20自治会などとなっている。  
**問** 公共施設利用の場合、会館建設費の抛出や維持費が必要なく、自前

の自治会館と不条理さがある。自前の自治会館について、水洗トイレの管理費程度を補助しては。

**総合政策部長** 他市自治体を参考に検討したい。  
**問** 一人暮らしの高齢者などを対象に、急病など緊急時の通報のため実施している緊急通報装置設置事業を、民間の生活サポートシステムにしては。

**健康福祉部長** 今後、安否確認や各種相談機能などを備えた民間システムの導入を考えている。  
**問** 事業対象の要件内容が高齢者には理解が容易ではなく、もっと分かりやすくすべきだ。

**健康福祉部長** 他市の表現などを研究し、分かりやすい表現にしたい。  
**要望** 事業の存在を知らない市民が多く、周知の徹底を。

**健康福祉部長** 市広報や民生委員にお願いでいるが、方策を検討したい。

### 生産緑地指定で都市農業振興を 地域振興はU・Iターン定住促進で

木村 一彦(日本共産党)

**問** 4月に都市農業振興基本法が制定され、都市農業の役割が見直されてきた。本市の市街化区域内の農地の状況は？

**産業振興部長** 市街化区域の約8.6%にあたる258haが農地として利用され、主に米が生産されている。平成22年からの5年間に約37ha(12.7%)減少しており、この傾向は続くものと思われる。

**問** 生産緑地の指定は、市街化区域内の農地を残す制度として有効だが、本市の現状は？

**産業振興部長** 現時点で指定した区域はない。指定されている例としては、大都市圏における市街化区域内の農地がほとんどである。

**問** 「若者に魅力のある地域拠点都市」など、従来型の「三三三東京」志向は成功していない。いまや地方の大半を占める中

山間地域を対象とする取組が重要さを増している。中山間地域では、20代後半から30代前半にかけて、結婚して子供が1人出来たような若夫婦が、どれだけ子連れでU・Iターンしてくるかに地域の存続がかかってくる。地元への定住状況とU・Iターン者の最新の動向を把握しておくことは、地域振興策の重要な出発点となるが、現状は。

**市長** 現状では、U・Iターン者の人数を把握することは困難。しかしながら、今後、移住希望地をご案内できる体制を整備してまいりたい。



宅地化がすすむ市街地の農地



一般・特別会計決算特別委員会の報告

(9月25・28・29日開催)

■一般会計(総務委員会所管)

「一般会計の実質収支の額が14億円を超過している。監査委員の審査意見書には、『実質収支比率は、標準財政規模の3%から5%が望ましいとされている』と記載されているが、結果的に6.6%となり、多くの不用額が出ている。これについては、どのように考えるか。」との質疑に対して、「当初予算の編成においては、歳入を見込み、必要な市民サービスの向上に向けた歳出を、できるだけ効果が高まるように、予算の配分をしております。毎年度生じている多額の不用額へのご指摘につきましては、真摯に受け止め、今後も不用額の内容をしっかりと分析し、平成28年度の予算編成において反映していきたいと考えております。」との答弁がありました。

■一般会計(教育厚生委員会所管)

「小・中学校施設の耐震化について、学校施設耐震化推進計画によれば、平成30年度までに全ての学校の耐震化が完了する予定になっているが、現在までの進捗状況はどうか。」との質疑に対し、「耐震補強を行う35棟の内、28棟が平成26年度までに完了し、平成27年度末には全棟の補強が終了予定でございます。また、平成27年7月、右田小学校の新校舎が完成しましたが、今後、桑山中学校及び西浦、中関、勝間、大道の各小学校において、順次、改築を実施し、計画どおり平成30年度には全小・中学校施設の耐震化が完

了する見込みとなっております。」との答弁がありました。

■一般会計(環境経済委員会所管)

「創業支援補助金では、事業の目的として、『新たに成長性、独創性のある事業内容で創業する事業者を対象とする』とある中で、全国展開のチェーン店に補助していることに違和感を感じるが、なぜ補助対象としたのか。」との質疑に対し、「このたび出店された店舗については、地元食材の販売や観光地図を常備し、観光客の方へご案内するなど、地元密着型のフランチヤイズで経営をされるということから、補助の対象として認定いたしました。」との答弁がありました。

■競輪事業特別会計

「競輪ファンの高齢化に伴い、入場者が減少する中で、新規ファンの獲得に対して、どのような取組を行っているか。」との質疑に対し、「主な取組といたしまして、ガールズ競輪の開催にあわせ、街中でのイベントに出向き、選手と一緒に集客のPRをするなど行ってまいりました。また、今後の取組ではございますが、ホームページをリニューアルするなど、引き続き、新規ファン獲得に努めてまいります。」との答弁がありました。

■介護保険事業特別会計

「国が推進する地域包括ケアシステムの中では、主治医を含む医療機関との連携が大変重要になると考えられるが、本市における連携の現状はどうか。」との質疑に対し、「医療や介護、行政等の各関係者が集まる『はあとふるなつと』会議において、定期的に事例研究や情報交換

を実施するほか、医療、介護の従事者、地域の支援者を対象とした研修会の開催等により、地域包括ケアシステムの構築に向けた連携の強化を図っております。」との答弁がありました。

■採決の結果

一般会計については、「行政改革の一環として市職員数の削減や民間委託が進められ、その結果、市民サービスが低下していること」、「消費税率の引き上げに伴い、市の施設の使用料を改定していること」、「実質収支の黒字が続いており、財政調整基金積立額も増えているが、市民のための施策が不十分であること」から承認できないとの反対意見がありました。

一方で、「新たな分別区分によるごみ収集体制の充実や災害時要配慮者避難支援ガイドラインの作成、また、交通安全対策施設の整備やがん検診の促進、留守家庭児童学級の充実、小・中学校施設の耐震化、公共施設のマネジメント事業等様々な事業を的確に実施しており、評価できる。」との賛成意見がありました。

国民健康保険事業特別会計については、「10億円を超える繰越金があるが、保険料引き下げの努力がされてないこと」、「介護保険事業特別会計については、『介護保険制度は市民に負担を転嫁するものであること』、後期高齢者医療事業特別会計については、『保険料や賦課限度額が引き上げられ、市民の負担増となっていること』から承認できないとの反対意見がありました。

討論を終結し、挙手による採決の結果、賛成多数により承認されました。

上下水道事業決算特別委員会の報告

(9月7日開催)

■水道事業

「前年度に比べ年間総有収水量が大幅に減少しているが、なぜか。」との質疑に対し、「富海地区におきまして、3カ月間漏水がございました。毎年、区域単位で漏水調査を実施しておりますが、平成26年度は、同地区が調査対象区域でなかったことなどから、発見が遅れたものでございます。」との答弁がありました。

「上右田地区の配水管布設工事について、給水対象847戸の内、783戸が未給水とのことだが、なぜか。」との質疑に対し、「このたびの布設は、メインルートのみを整備であり、今後、枝管を整備していく中で、給水戸数は増えていくと考えております。」との答弁がありました。

「水需要の減少等により、今後、水道料金はどのように改定されるのか。」との質疑に対し、「平成13年度の改定以降、据え置きとしており、今後でもできる限り、現行の料金体系を維持していきたいと考えております。」との答弁がありました。

■下水道事業

「企業債残高の今後の見通しは。」との質疑に対し、「現行の計画で事業を進めた場合、企業債残高のピークは、平成31年度前後に約250億円になるものと考えております。」との答弁がありました。

■採決の結果

賛成多数により承認されました。

# 重川恭年 議員 ご逝去



防府市議会議員の重川恭年様が平成27年10月8日、病気のため亡くなりました。享年74歳。重川議員は、平成16年11月の市議選で初当選され、以来3期11年間の長きにわたり、市政の発展にご尽力され、この間、経済委員会委員長、教育民生委員会委員長などを歴任、平成24年12月には第52代市議会副議長を務められました。

また、地域においても、ボーイスカウト山口県連盟の理事として青少年の健全育成にご尽力されました。

なお、永年のご功績により、平成27年に全国市議会議長会から表彰されました。謹んで哀悼の意を表します。

## 庁舎建設調査特別委員会の報告

（8月21日開催）

市執行部から、次の項目の説明がされ、質疑を交わしました。

### ■基本構想・基本計画策定までの進め方

平成27年度に建設候補地の検討、平成28年度には庁舎規模、機能、事業費・財源などの検討を行い、計画案のパブリックコメントを実施し、策定の予定。

### ■来庁者アンケート・市民アンケート

来庁者アンケートは窓口業務の課で、市民アンケートは郵送で実施。（9月）

### ■建設・環境部会検討報告書

建設・環境部会（庁内検討委員会の下に設置）での検討結果をまとめたもの。

庁舎建設候補地について、①相当程度の市有地がある、②将来にわたり市の都市核となり得る場所、という条件を設定し、①現庁舎敷地、②駅北公有地エリア、③公会堂文化福祉会館敷地、④市営中央町駐車場エリアの4カ所を議論のための叩き台として抽出した。最終的に2カ所程度に候補地を絞り込み、詳細な比較検討を行い、候補地の選定につなげる。

議員の質疑に対して、「現庁舎敷地に建替える場合は、埋蔵文化財の試掘等の調査が必要となる。」市有地を条件の一つとしたのは、財政負担の軽減のためだが、この4カ所に候補地が限定されるものではなく、他の候補地の提案が出た場合は、協議の対象として議論していく。」との答弁がありました。

※関係資料は市ホームページ庁舎建設室に掲載されています。

## 議会モニターからの意見

モニターから寄せられた意見などの一部を紹介します。（内容は要約しています。詳しくは、議会ホームページをご覧ください。）

通 信 内 容	市 議 会 回 答
<p>① 平成27年8月24日</p> <p>8月21日の庁舎建設調査特別委員会での各委員による「新聞発表されてたまげた。」「初めて聞いた。」などと、各委員が烏合の衆のようにここぞとばかりに同調して声を荒げ、執行部に対し詰め寄る言動を見聞きました。これを見聞きした報道関係者及び傍聴人は「白熱を帯びている」とか「緊張感がある」等と「誤った」白熱感、緊張感、臨場感を抱かれたのではと思うと残念でなりません。これは、白熱感、緊張感、臨場感ではなく単なる「議員だけによる喧噪」そのものであると感じたものです。</p> <p>本当に人のために役立つことをするならば失政や失敗、そして議員職の持続性を考える前に、自分たちが能動的に対案としての政策立案を提出し自他の吟味に向かおうと思わないのでしょうか。</p> <p>このように感じた故に、以前にも言いましたように「職業としての政治家」と思ったものです。</p>	<p>議会を傍聴しての、議員としての発言の内容や、議員としてのありようについての意見を承りました。</p> <p>議員自ら行う政策立案などに関しては、本会議での市執行部に対する一般質問や議員提案による条例の制定、政策討論会などがあります。</p> <p>しかしながら、市議会の運営に関するご意見ではなく、議員個人がした発言の内容等についてはお答えができませんので、このたびは回答を控させていただきます。</p>
<p>② 平成27年9月3日</p> <p>8月20日に開催された教育厚生委員会と、翌21日に開催された庁舎建設調査特別委員会を傍聴させていただきましたが、この度、教育厚生委員会以外の常任委員会は、なぜ開催されなかったのでしょうか。</p> <p>現在は、市民の方が委員会の傍聴に来られても、意見を言えないシステムですが、議会事務局に意見箱を設置し、広く市民の方から意見を募り、それを各議員さんが回覧等で確認されたうえで、代弁していただくようなシステムができれば、声が届くことをうれしく思い、傍聴に来てくださる市民も増えるのではないのでしょうか。</p> <p>委員会の録画放映ですが、スペースや人員不足の問題で、困難なのは承知しておりますが、せっかく活発な意見交換がなされているのに、放映しないのは勿体ないと感じました。まずはホームビデオでの撮影等、簡易的なものでもよいので、取り組まれてはいかかでしょうか。また、委員会の議事録についても、議会のホームページで見られるようにするとよいのではないかと思います。</p>	<p>教育厚生委員会を傍聴されてのご意見ありがとうございます。常任委員会は、議会閉会中でも所管事務調査などできることとなっておりますが、その開催は委員会によって異なります。</p> <p>また、議会事務局に意見箱を設置してはどうかとの事ですが、市政運営については「市長への提言箱」を設置していますし、議会に対するものについては、請願・陳情の制度や議会報告会、議会懇談会がありますのでそちらを活用してください。</p> <p>委員会でのカメラ放映については、経費やそれを操作する人員、スペースの面から難しいですが、その会議録については今後検討してまいります。</p> <p>なお、本会議についての会議録はすでに議会ホームページに掲載していますのでそちらを活用してください。</p>

# 視察報告

## 教育厚生委員会 (8月5日～7日)

■**学校図書館支援センター(千葉県市川市)**  
市川市では、公立図書館と学校図書館をつなぐ役割を学校図書館支援センターが担い、情報・物流・人のネットワークが構築されています。すべての学校図書館の学校司書などと図書館支援スタッフの連携により、蔵書数140万冊の大きな図書館として機能しています。

## ■土曜授業の取組(千葉県野田市)

野田市では、質の高い指導、均等な学習機会の提供、規則正しい生活改善、重点的指導の時間の確保を目的に、平成26年度より毎月第2・第4土曜日の午前中3時間、土曜授業アシスタントを雇用し、土曜授業を行っています。

## ■地域包括ケアシステム(東京都武蔵野市)

武蔵野市では、地域での見守りや社会とのつながりが必要な高齢者等の生活を総合的に支援する「テナミリオンハウス事業」を実施しており、地域の福祉団体や住民の方々などが、年間一千万円(テナミリオン)を上限に市の補助を受け、各施設がデイサービスやシヨートステイなど特色ある事業を展開しています。



武蔵野市役所にて

## 山口県市議会議員研修会

(8月19日秋分)

### ■地方議会の運営と改革

講師 元全国都道府県議会議長会  
・ 講師 元全国都道府県議会議長会  
・ 講師 元全国都道府県議会議長会

戦前は本会議中心であったが、戦後は委員会中心となっていた。

平成5年の総選挙以来、国政は激動しているが、地方政治は安定している。住民は動揺していない。この地方政治の役割は高く評価されているが、マスコミ、住民、学者からは、高い評価の声を聞くことは、極めて少ない。このため、地方自治制度や議会運営についての理解を深めるとともに、主権者である住民の意識改革をすることが求められている。

また、議会事務局においても、政策担当部門を充実させたり会議担当職員を強化する必要がある。

### ■議会と地方創生

講師 新潟県立大学 田口一博先生

平成27年度は、地域版地方創生総合戦略を作成し、国に提出しなければいけない。様々な意見を住民から聞き、執行機関ができないことを議会が行う必要がある。

まず、改めて地域を診断し、客観的な評価と住民の思いから戦略を検討し、その後、実施状況の報告を受けて見直しを行っていく必要がある。国勢調査を活用し、人口減少に対応していかなければいけない。議員の素肌感覚を大切に市町村の将来像を決め、住民を巻き込んで参加させていくことも必要である。

## 議会懇談会を開催

市庁舎建替事業における市庁舎建設場所について、協同組合 防府設計集団からの申込により、庁舎建設調査特別委員会委員と議会懇談会を行いました。

防府駅てんじんぐち前を市庁舎とし、そこを中心に低層高級住宅、高層マンション、セントラルパーク、直販市場、物販・飲食、総合医療センター、公会堂を設定した「中心市街地再生計画プロジェクト」の提案が出され、意見交換を行いました。



後日、提案を受けた趣旨を執行部に伝えました。

## 議会懇談会について

議会では、市民団体や市民のグループの要望、市政の課題などテーマを決めて、議会の委員会との意見交換の場を設ける議会懇談会を行っています。

議会懇談会の開催を希望する団体は、所定の申込書(議会事務局、各公民館にあります。市ホームページからもダウンロード可能です。)を議会事務局までお持ちになるか、郵便でお申し込みください。

## 【お知らせ】

### 市議会議場でコンサート

第15回防府音楽祭「ほうふニューイヤークンサート2016」のオープニング街角コンサートが、まちの駅「うめてらす」など市内8カ所で開催されます。

市民の皆様は議会を少しでも身近に感じていただけるように、市議会議場においても、防府市出身の田中雅弘さん(チエロ)、景山誠治さん(ヴァイオリン)、澤田樹さん(ヴァイオリン)、澤和樹さん(ヴァイオリン)、ヴィオラ)が弦楽四重奏をお届けします。

小さなお子様と一緒にの方も、お気軽にお越しください。

日時 平成28年1月8日(金)

12時～

入場料 無料



昨年の様子

# 議会日誌

## 8月

- 4日 広報編集委員会
- 5日 教育厚生委員会行政視察(～7日)
- 10日 議会概要報告会
- 19日 山口県市議会議員研修会
- 20日 教育厚生委員会(所管事務調査)  
議会改革の視察受入(京都府福知山市)
- 21日 庁舎建設調査特別委員会
- 26日 山頭火ふるさと館検討協議会
- 28日 会派代表者会議  
議会改革推進協議会  
勉強会
- 31日 議会運営委員会

## 9月

- 1日 議会まちづくり・地方創生委員会
- 3日 9月定例議会開会  
広報編集委員会  
議会懇談会
- 7日 上下水道事業決算特別委員会
- 8日 全員協議会
- 10日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議(一般質問)
- 14日 本会議(一般質問)
- 15日 本会議(一般質問)  
議会運営委員会
- 17日 予算委員会(全体会)
- 18日 常任委員会・予算分科会(総務・教育厚生・  
環境経済)
- 25日 一般・特別会計決算特別委員会(総務)
- 28日 一般・特別会計決算特別委員会(教育厚生)
- 29日 一般・特別会計決算特別委員会(環境経済)

## 10月

- 1日 予算委員会(全体会)
- 2日 議会改革推進協議会
- 6日 9月定例議会閉会  
広報編集委員会
- 13日 議会改革推進協議会
- 16日 広報編集委員会
- 19日 教育厚生委員会(所管事務調査)
- 20日 議会まちづくり・地方創生委員会
- 22日 総務委員会(所管事務調査)
- 26日 庁舎建設調査特別委員会
- 27日 議会改革推進協議会  
広報編集委員会
- 28日 環境経済委員会行政視察(～30日)

## 12月定例議会の予定

- 11月30日 本会議(開会)
- 12月 3日 本会議(一般質問)
- 4日 本会議(一般質問)
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 10日 予算委員会(全体会)
- 11日 常任委員会・予算分科会(総務)
- 14日 常任委員会・予算分科会(教育厚生)
- 15日 常任委員会・予算分科会(環境経済)
- 17日 予算委員会(全体会)
- 22日 本会議(閉会)

会議の開会時刻は、午前10時です。  
なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

## 編集後記

伝統ある防府天満宮花神子社参式がきらびやかに挙行される中、石段を埋め尽くすことがとき、多くの七五三の親子連れがありました。

また、まちの駅「つめてらす」の来館者数300万人達成を喜ぶと共に、道の駅「潮彩市場防府」の国土交通省登録記念式典が盛大に開催され、まちじゅうの賑いが一層増したようです。文化やスポーツの秋たけなわの中、各地で文化祭などが行われ、一の宮として有名な玉祖神社例大祭「占手神事」が開催されました。

さて、平成28年からの選挙権年齢18歳への引き下げに伴い、県議会では子ども議会の開催などがあり、防府市議会もどうかしておられません。更なる努力が必要です。

なお、今号をもって広報編集委員を交代することになります。1年間、ありがとうございました。

### 【議会広報編集委員会】

◎吉村弘之 久保潤爾

山本久江 田中敏靖

和田敏明

(◎委員長)